

### 【平安時代後期】

1	院政とはどのような政治か。	天皇が位をゆずって上皇になった後も、実権を握って行った政治のこと。
2	源氏が東国で勢力を拡大した理由を、東北地方で起きた争いと関連づけて説明せよ。	東北地方で起きた2度の争い(前九年の役・後三年の役)を(源義家が)平定したから。
3	平清盛はどのようにして政治の実権を握ったか。	娘を天皇と結婚させ、生まれた子を天皇にした。
4	平清盛はどのようにして経済力をつけたか。「港」という語句を用いて説明せよ。	神戸(兵庫)の港を修築して、日宋貿易に力を入れたから。

### 【鎌倉時代前半】

1	鎌倉時代になり政治の中心地は鎌倉にうつり、政治を行う人も変化した。どのように変化したか。	貴族や天皇から武士へと変化した。
2	御家人とはどのような武士のことか。	土地を仲立ちとして、将軍と御恩と奉公の主従関係を結んだ武士のこと。
3	御恩と奉公とはそれぞれどのようなものか。	御恩…将軍が御家人に領地を与えたり、役職に任命すること。 奉公…御家人が将軍に忠誠を誓い、戦いに参加したり、京都や鎌倉の警備をすること。
4	守護はどのような役割を果たしていたか。	国ごとにおかれ、御家人の統率や警察の役割を果たしていた。
5	地頭はどのような役割を果たしていたか。	荘園や公領ごとにおかれ、土地の管理や年貢の取り立てを行う役割を果たしていた。
6	承久の乱の後、六波羅探題が設置されたのはなぜか。また、それによって鎌倉幕府の勢力範囲はどうなったか。	朝廷を監視するために設置され、勢力範囲は西日本にまで広がった。
7	御成敗式目を制定した人物と、その目的を答えよ。	北条泰時が、裁判を公正に行うために制定した。
8	鎌倉時代の仏教が、民衆にも広まったのはなぜか。	簡単でわかりやすく、実行しやすかったから。
9	鎌倉文化とはどういった文化か。	武士の気風を反映した力強い文化。
10	鎌倉時代になると、荘園の農民はどのような支配を受けるようになったか。	荘園領主と地頭の二重支配を受けるようになった。